

2026年10月3日(土)

14:00~15:30

福岡県教育会館 2階小会議室

2026年9月30日現在 6人

第1回 福岡県障教ネット登録者会議(Web 併用)

1. はじめのことば

2. 自己紹介

- ①筑紫支部 吉村 貢 さん 4年前腎不全となり、透析が必要に 今は学校には勤めていない
- ②朝倉支部 野村 裕二 さん 3歳のときに発症した進行性の病のため、視覚に障害
(ちゃんと病院にかかり、そのことが分かったのは就職後)
再任用を終え、非常勤講師として特別支援学級担任を務めている
- ③宗像支部 高松 真理子 さん 脳梗塞の後遺症でマヒが残っている 市内のみ運転可
- ④ 介助者 高松 徹也 さん 再任用を終えた元教員 妻とともに全国集会など参加している

3. 協議事項

(1) 労働条件に関する情報交換・課題等の共有について

- ①吉村さん 存在や困り感を知らない・分かっていない状況を改善したい(周知)
県内には、障がいある職員は350人を超えている(資料持参)
※学校現場は少ない(免許をもつ方が少ないため改善が難しいという県の見解)
- ②野村さん ○職員室から一番近い教室配置
○理科準備室の床に備品等が散乱→激しく転倒→管理職がすぐに整理整頓
○周りに分かってもらうことも必要と言われる→白杖を持ち始めた
○担任している子どもたちには、詳しく話したわけではないが、
一緒に過ごしていると自然と理解している
- ③高松さん ○障害があることは、職員にも児童生徒にもオープンにしている
○装具をつけている関係で靴の履き替えが大変→屋内外兼用が暗黙の了解
○学校に手すりがないと歩くことが困難と訴え→一部に手すりがついた
○勤務先が大島学園のため、通勤は車→船→徒歩(15分程度)
 - ・港の身障者専用駐車スペースに釣り客が停めていることがある
 - ・徒歩に時間がかかるようになってきて、資材を運ぶ車に乗せてもらうことも
 - ・雨のときなどはタクシーを使いたいが、島に1台しかなく、また費用も自己負担- 毎年アンケートがあるが、答えるだけになっている

(2) 福岡県障がい者活躍推進計画と委員の選出について

- 委員について、26年度は、福教組の組合員が参画している。
- ③高松真理子さんが、27年度の委員を引き受けてくださる意向。

4. 連絡事項

(1) 「障害のある教職員ネットワーク」の登録について

(2) 第12回障教ネット全国集会について

- ②野村さん 参加して、「同じ病気の人がいっぱいいるんだ」と感じた。
また、他の方のがんばりが、自分の刺激にもなった。

5. 終わりのことば